RC・LC・JC・キワニス ニュース

被災者支援へ 合唱団連合会を結成

毎年慈善コンサート開催

国際ロータリー第2760地区の7グループ

東日本大震災で被災した子どもたちを長期間にわたって支援していこうと、国際ロータリー第2760地区の7つのコーラス愛好グループが名古屋地区ロータリークラブ合唱団連合会（会長＝盛田和昭パストガバナー）を結成し、毎年「東日本大震災チャリティーコンサート」を開催して支援活動を続けていくことを決めた。

義援金を送る盛田会長（右）

合唱団連合会を結成したのは、名古屋名南RC混成合唱団、メール・アカンターレ（名古屋東南RC）、コール・カメリア（名古屋名駅RC）、コール・スイーツ（あまRC）、KIRARA（西尾KIRARARC）、オオスシンガーズ（名古屋大須RC）、コール・ロータリー名古屋（地区内15クラブのメンバーが参加）の7グループ。

長期間にわたって支援活動を続けていく「東日本大震災チャリティーコンサート」

連合会を結成した経緯は、毎年全国各地を持ち回りで開催してロータリアンの〝コーラスの祭典〟といわれ、本年度は6月4日に大津市で開催する予定だった「全日本ロータリークラブ親睦合唱祭」が東日本大震災の発生で自粛されたため、参加を予定していたグループから「練習した成果を披露したい」という声が出たことや「コーラスを通じて被災者を支援することはできないか」「できれば長期の支援をしていきたい」などの要望が出たことから、連合会組織を設けて長期的な支援活動を続けていくことにした。

会場に設けられた義援金募金コーナー

連合会では「連合会の目的は、東日本大震災で被災した若者たちを支援するためのチャリティーコンサートを主催することであり、毎年開催して名古屋から元気と義援金を送り続けていきたい」（盛田会長）としている。

第1回のチャリティーコンサートは、名古屋市名東区上社の名東文化小劇場で開催された。7グループが日ごろの練習の成果を披露したのをはじめ、友利恵（テノール）、友森美文（バリトン）、井原義則（テノール）、夏目久子（メゾソプラノ）、加藤典子（ソプラノ）の5人の歌手が協賛出演した。最後に被災地をしのんで「故郷」を全員で合唱した。

コンサートの最後に、7グループが持ち寄った義援金と会場で募った義援金合わせて約55万円を、盛田会長が「被災地の子どものために使ってください」と話し、病気や事故で親を亡くした子どもたちを支援しているあしなが育英会（本部・東京都千代田区）の代表に手渡した。

連合会では、次回のチャリティーコンサートを来年5月24日に開催することにしている。

発行所 中部経済新聞社
〒450―8561
名古屋市中村区名駅4―4―38
編集局 052(561)5212
販売局 052(561)5216
営業局 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
中部経済新聞
THE MID-JAPAN ECONOMIST